



# おとこ

## 一匹

### 前報

### 回

前回も斎祭りの時のアンケートも、單身生活と釜では女性が少ないこと、について話し合いました。大半の人が單身生活を続けるという現状をめぐらさまざ、まは思いと願、誰にとっても無様ではないでしょう。

「木の又から生まれたいんところがうし、タキ出シも受けて又も元来のこと思たら思、こと出は、ん」

「自分のやり方が悪か、と思つてドマの布団の中で又も出ることあるで」

「病気の時は淋しいなあ、自分でやるしかないけい」

「ワシは昔から易者に、親、兄弟、女の縁がうすい、言われてきたから、今の單身の生活が当たり前と思つとる」

「前報も思つとる」

# そ

▼ △ ▼ ▼ △

「釜では普通の女の人はこわがって遠く逃げへんや」

「酒飲んだら、クセ悪いと思

いんでるんや」

「せやけど、釜の人間も女の

くに相手にされへんやうと自分

分から避けてると思つて」

「シリ離れたりするのは流れ

者や、古くから釜にいた人は

せえへんで」

「アンケートではあんまり遊

んでないようやけど、釜の人

間には性欲はないんやろわ」

「酒をようけ飲むから、いざとなつた時、役に立たんこと

が多い」

「余裕がないゆえ、やす

かり分程に、一万円もか

けるのはもつたないわ」

「テレビでも見

て、酒を飲ん

でる方がええ

で」

「ほん近くに住んでるん

やけど、飛田にも耳も

いッアないな」

「分会が大阪市に結婚相談所

を任せいうてるけど、やつて

も成立せえへんのとちやうか」

「みんな、女をクイモノにす

るようになる、罪作りになち

と思つて」

# の

「今四十六やけど、もう一花咲かせたいと思つことはあるわ」

「酒も結婚したら一度は減るか

もしれんが、また元のモクアミ

になると思つて」

「とはいつても、子孫をばらん

というのには御先祖に申し訳けな

いで、後めたいわ」

「結婚せんというのには、一人前

とちやうと思つて」

「我一人生きるに不

自由なしや」

「価値観と生活がず

れてる、淋しい思

いするの

は、仕事がない

いこと、酒、

ギャンブルの

せいや、みんな

釜の問題とちやうか」

# 生

# 性